

## 1. はじめに

### 1.1 児童発達支援の現状

近年、発達障害児への地域支援のニーズが高くなっており、特に幼児期からの早期支援の重要性が指摘されている。発達障害児に対して提供される支援を療育といい、就学前の発達障害児や発達に気がかりのある児への療育において、公的な児童発達支援センター及び民間による児童発達支援事業所が重要な拠点となっている。児童発達支援事業所の特徴はさまざまであり、個別支援・集団支援や体験的なプログラムなど、それぞれの事業所ごとに支援の仕方に工夫を凝らしているのが現状である（佐藤・菅野，2017）。

児童発達支援は、身近な地域の障害児支援の専門施設として、通所利用の障害児への支援だけではなく、地域の障害児・その家族を対象とした支援や、保育所等の施設に通う障害児に対し施設を訪問して支援するなど、地域支援に対応している。児童福祉施設と定義される「児童発達支援センター（以下：センター）」とそれ以外の「児童発達支援事業所（以下：事業所）」の2類型であり、センター、事業所どちらも、通所利用の障害児やその家族に対する支援を行うことは「共通」とし、「センター」は、施設の有する専門機能を活かし、地域の障害児やその家族への相談、障害児を預かる施設への援助・助言をあわせて行うなど、地域の中核的な療育支援施設であり、「事業所」は、専ら利用障害児やその家族に対する支援を行う身近な療育の場と位置づけられている。

整備量としては、「センター」は、市町村～障害保健福祉圏域の範囲に1～2カ所設置のされており、概ね10万人規模に1カ所以上、人口規模の大きい市は、10万人を目安に複数カ所設置し、逆に人口規模の小さい市町村は最低でも1カ所設置となっている。その他の「事業所」は、市町村の範囲に複数設置されており、障害児の通所可能な範囲（例えば中学校区など）を基準に最低1カ所以上を理想値としており、2015年10月の時点で全国に573カ所（福祉型467・医療型106）設置されている（厚生労働省，2016年）。

児童発達支援については、2012年4月では、約1700カ所の事業所数であったが、2015年10月には、約4500カ所となっている。このような状況にあるなか、支援の質の確保及びその向上を図り、障害のある子ども本人及び家族のための発達支援を提供していく必要がある。

### 1.2 児童発達支援の提供すべき支援

児童発達支援は、大別すると、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」からなり、障害のある子どもの個々のニーズに対し、支援ごとの「ねらい」を達成するために、それに必要な「支援内容」を具体的に提供しながら、総合的に支援を行うものである。また、「本人支援」は障害のある子どもの発達の側面から、心身の健康や生活に関する療育「健康・生活」、運動や感覚に関する療育「言語コミュニケーション」、人とかかわりに関する領域「人間関係・社会性」の5領域にまとめられ、「本人支援」の各領域に示す「ねらい」及び「支援内容」は、子どもが家庭や地域社会における生活

を通じ、様々な体験を積み重ねる中で、相互に関連を持ちながら達成に向かうものである。このため、「本人支援」だけでなく、「移行支援」や「家族支援」、「地域支援」を通して、育ちの環境を整えていくことが極めて重要である（厚生労働省，2017）。

また、2014年の障害児支援の在り方に関する検討会によって、現状の問題意識として、①障害児の地域社会への包容・参加（インクルージョン）を進めること、②一般的な子育て支援施策を含めたより総合的な形で支援を進めること、③そのため、障害児支援を、こども一般施策における障害児の受け入れをバックアップする、いわゆる後方支援と位置づけること、④ライフステージに応じて切れ目のない支援と各段階に応じた関係者の連携（縦横連携）を充実させること、⑤丁寧かつ早い段階での保護者支援・家族支援を充実させること、の5点が挙げられている。

上記5点の問題意識は、実際に支援に携わっている支援者にとっては十分理解できるものであるが、別の視点として、そもそも事業を利用するにあたって保護者と行政・センター・事業所はどのような関係性があり、どのような過程を経て利用に至るのかを把握することも重要と思われる。早期発見・早期療育の必要性が叫ばれるなかで、果たして現状はどうなっているのか、一人ひとりの保護者のニーズに児童発達支援事業自体が十分に答えられているのかを明確にすることは意義があると考えられる。

上記を踏まえて、本調査では「職員・利用者（保護者）が児童発達支援事業をどのように捉えているのか」というリサーチクエストに答えるための第一歩として、センターや事業所の職員及び利用者を対象として質問紙調査を実施し、事業の問題点や課題を明確にすることで、より利用者の利益にかなった質・量ともに充実した児童発達支援事業のあり方を検討する。また、支援者にとってもよりやりがいのある事業運用についても検討する。

## 2. 研究の対象と方法

### 2.1 対象及び方法

- ① 対象：センター職員、センター利用者、事業所職員、事業所利用者
- ② 調査期間：2015年10月～2016年2月
- ③ 方法：研究概要を書面にて説明し、同意を得た。調査票は郵送及び手渡しにて回収した。

#### <第1研究>

利用者・センター職員・事業所職員に質問紙調査を実施し、各質問項目について統計分析をおこなった。

#### <第2研究>

質問紙調査における自由記述部分について、利用者を対象に内容分析をおこなった。

### 2.2 調査内容

#### a) 対象者の属性

\*センター・事業所職員：事業所所在地（東京都、埼玉県、神奈川県）、年齢、保有資格、事

業経験年数

\*利用者：居住地（東京都，埼玉県，神奈川県），保護者の年齢，子どもの年齢（1歳：3人 2歳：38人 3歳：84人 4歳：94人 5歳：109人 6歳：59人）性別（男児：306人 女児81人 男女比：男児79.1%・女児20.9%）

b) 調査項目

\*センター・事業所職員：自主作成した30項目（共通21項目）<第1研究>，事業に関する自由記述

\*センター・事業所利用者：自主作成した30項目（共通21項目）<第1研究>事業に関する自由記述<第2研究>

\*調査票は5件法にて回答を求めた

## 2.3 分析方法

<第1研究>の統計処理は， $\chi^2$ 検定はJava Star，t検定はSPSS Ver. 22を使用した。

センター職員・事業所職員の比較分析は，センター職員の回収数が少なかったため実施しなかった。

<第2研究>の自由記述に関しては，KJ法にて内容分析を実施した。センター職員・事業所職員の記述数が少なかったため，事業所利用者（保護者）のみ行なった。

## 2.4 回収結果

センター職員：4カ所49名（回収率72.1%），事業所職員18カ所63名（回収率83.4%），センター利用者2カ所26名（回収率61.1%），事業所利用者18カ所387名（回収率84.1%）を分析対象とした。

## 2.5 倫理的配慮

調査の実施に際しては，書面にて十分に内容の説明を行ない，文書による同意を得た。

得られたデータの処理においては，個人が特定されないよう配慮し，調査票は回収後速やかにデータ化し，データ以外の書類はすべて裁断した。

## 3. 結果

### <第1研究>

事業所利用者とサービス提供者である発達支援事業所職員の意識や考えの差異を検討するために，回答内容を「5 あてはまる」と「4 どちらかというにあてはまる」とそれ以外の2群に分け，クロス集計表を作成し， $\chi^2$ 検定を行った。その結果，設問項目「2. 4. 7. 9. 11. 12. 13. 14. 15. 17. 20. 21. 」にて，利用者と職員の意識に有意差がみられた。

「設問2：事業所の利用にいたるまで、自治体窓口の対応には満足している」

**表.1**

設問2		4+5		それ以外		計
(事)利用者	n	186		201		387
	残差	3.828	△	-3.828	▼	
事業所	n	14		49		63
	残差	-3.828	▼	3.828	△	
計		200		250		450

$\chi^2(1)=13.623, p<0.01^{**}$

「設問4：受給者証の支給量は、お子さんにとって適切な支給がなされている」

**表.2**

設問4		4+5		それ以外		計
(事)利用者	n	287		100		387
	残差	3.786	△	-3.786	▼	
事業所	n	32		31		63
	残差	-3.786	▼	3.786	△	
計		319		131		450

$\chi^2(1)=13.225, p<0.01^{**}$

「設問7：事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達（感情のコントロールを身につける等）の役に立っている」

**表.3**

設問7		4+5		それ以外		計
(事)利用者	n	349		38		387
	残差	2.511	△	-2.511	▼	
事業所	n	50		13		63
	残差	-2.511	▼	2.511	△	
計		399		51		450

$\chi^2(1)=5.277, p<0.05^*$

「設問9：お子さんの様子や、支援の内容（体調変化時の対応含む）について、事業所と情報共有できている」

**表.4**

設問9		4+5		それ以外		計
(事)利用者	n	374		13		387
	残差	2.256	△	-2.256	▼	
事業所	n	57		6		63
	残差	-2.256	▼	2.256	△	
計		431		19		450

$\chi^2(1)=2.256, p<0.1^*$

「設問 11：事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている」

**表.5**

設問11		4+5		それ以外	計
(事)利用者	n	381		6	387
	残差	8.852	△	-8.852	
事業所	n	45		18	63
	残差	-8.852	▼	8.852	
計		426		24	450

$\chi^2(1)=73.091, p<0.01^{**}$

「設問 12：事業所職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である」

**表.6**

設問12		4+5		それ以外	計
(事)利用者	n	379		8	387
	残差	3.709	△	-3.079	
事業所	n	56		7	63
	残差	-3.079	▼	3.709	
計		435		15	450

$\chi^2(1)=11.089, p<0.01^{**}$

「設問 13：お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる」

**表.7**

設問13		4+5		それ以外	計
(事)利用者	n	341		46	387
	残差	3.826	△	-3.826	
事業所	n	44		19	63
	残差	-3.826	▼	3.826	
計		385		65	450

$\chi^2(1)=13.197, p<0.01^{**}$

「設問 14：子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる」

**表.8**

設問14		4+5		それ以外	計
(事)利用者	n	320		67	387
	残差	2.117	△	-2.117	
事業所	n	45		18	63
	残差	-2.117	▼	2.117	
計		365		85	450

$\chi^2(1)=3.778, p<0.1^*$

「設問 15：職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思う」

**表.9**

設問15		4+5		それ以外	計
利用者	n	374		13	387
	残差	2.769	△	-2.769	
事業所	n	56		7	63
	残差	-2.769	▼	2.769	
計		430		20	450

$\chi^2(1)=5.950, p<0.05^*$

「設問 17：お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での活動についての説明はわかりやすいと思いますか」

**表.10**

設問17		4+5		それ以外	計
(事)利用者	n	358		29	387
	残差	4.043	△	-4.043	
事業所	n	48		15	63
	残差	-4.043	▼	4.043	
計		406		44	450

$\chi^2(1)=14.553, p<0.01^{**}$

「設問 20：事業所職員には支援に関連する資格が求められる」

**表.11**

設問20		4+5		それ以外	計
(事)利用者	n	313		74	387
	残差	4.452	△	-4.452	
事業所	n	35		28	63
	残差	-4.452	▼	4.452	
計		348		102	450

$\chi^2(1)=18.402, p<0.01^{**}$

「設問 21：事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だと思う」

**表.12**

設問21		4+5		それ以外	計
利用者	n	347		40	387
	残差	3.028	△	-3.028	
事業所	n	48		15	63
	残差	-3.028	▼	3.028	
計		395		55	450

$\chi^2(1)=7.955, p<0.01^{**}$

上記の結果からいくつかの項目についてみていくこととする。設問 7 に関しては、事業所に比べて利用者ではあてはまる、どちらかというにあてはまるという回答が多かった。つまり、事業所が思っているよりも、利用者は子どもの情緒面の発達に役立っていると捉えている。全体的に、利用者の方が肯定的な評価が多く、事業所がネガティブに評価している。事業所職員が、もう少し日々の活動に関して自信を抱けるような環境や育成などが求められる（表. 3）。設問 9 においても、利用者ではあてはまる、どちらかというにあてはまるという回答が多かった。事業所職員としては限られた時間のなかで、子どもの状況や特性について情報提供し共有しているものと思われるが、決して十分な時間や機会が確保されているわけではないとの認識がうかがえた（表. 4）。設問 17 についても、事業所職員自身の評価は低い結果となった。事業所の理念や支援方針などを掲げているところがほとんどではあるものの、それが職員一人ひとりに浸透し十分理解されているのかが、現場の課題として捉えてられている証左とも考えられる（表. 10）。設問 20 では、利用者は高い数値を示し、専門的知識やそれに裏づけされた支援技術の高い職員による支援を求めている傾向がうかがえた（表. 11）。次に、センターと事業所の利用者間での違

いを t 検定にてみることにした。全体を概観すると、事業所よりもセンターの方が肯定的な評価を受けていることがみてとれた (表. 13)。これは、センターは公的機関であると利用者は認識しており (実際は民間委託運営が多数)、また設備構造・規模・人員配置などからも、民間の事業所と比較して信頼生が高いことのあらわれとも考えられる。

表. 13 (センター利用者および事業所利用者) 記述統計量・t 検定

No	項目	利用場所	n	平均値	標準偏差	p	t値	df	p
1	児童発達支援事業について、国や自治体は十分に周知・広報できている	事業所	387	2.49	1.06	0.20	-0.61	411	.542
		センター	26	2.62	0.90				
2	事業所の利用がいたるまで、自治体窓口の対応は満足している	事業所	387	3.23	1.32	0.42	-1.00	411	.317
		センター	26	3.50	1.24				
3	受給者証が発行されるまで、1か月以上かかった	事業所	387	2.34	1.61	0.12	-0.86	411	.393
		センター	26	2.62	1.44				
4	受給者証の支給量は、お子さんにとって適切な支給がなされている	事業所	387	4.09	1.10	0.16	2.78	411	.006
		センター	26	3.46	1.30				
5	事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えている	事業所	387	4.72	2.15	0.27	-0.49	411	.624
		センター	26	4.92	0.27				
6	事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	387	4.62	0.58	0.39	-0.59	411	.554
		センター	26	4.69	0.55				
7	事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	387	4.46	0.73	0.00	-3.90	34.1	.000
		センター	26	4.85	0.46				
8	事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	387	4.28	0.77	0.28	-1.64	411	.101
		センター	26	4.54	0.65				
9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、事業所と情報共有できている	事業所	387	4.53	0.61	0.78	-1.24	411	.216
		センター	26	4.69	0.88				
10	ご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っている	事業所	387	4.10	0.92	0.11	-3.01	411	.003
		センター	26	4.65	0.85				
11	事業所の活動スペースが清潔で整理された空間になっている	事業所	387	4.80	0.47	0.02	0.67	26.1	.508
		センター	26	4.69	0.84				
12	事業所職員の言葉遣いや態度、服装などが適切である	事業所	387	4.80	0.50	0.64	-0.45	411	.655
		センター	26	4.85	0.78				
13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	事業所	387	4.52	0.73	0.00	-2.06	28.0	.048
		センター	26	4.85	0.78				
14	子ども同士のいさかみやけんか等があった場合の職員の対応は信頼できる	事業所	387	4.39	0.82	0.00	-2.03	28.4	.052
		センター	26	4.73	0.83				
15	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思う	事業所	387	4.71	0.56	0.04	-1.10	27.8	.282
		センター	26	4.85	0.61				
16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれている	事業所	387	4.52	0.78	0.62	-0.33	411	.745
		センター	26	4.58	1.03				
17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での活動についての説明はわかりやすいと思いますか	事業所	387	4.53	0.70	0.76	-0.62	411	.537
		センター	26	4.62	0.85				
18	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれると思いますか	事業所	387	4.52	0.68	0.93	-0.43	411	.670
		センター	26	4.58	0.86				
19	あなたが困ったときに、職員以外の(役所や第三者委員など)にも相談出来ることをわかりやすく伝えてくれた	事業所	387	3.89	1.04	0.79	-0.71	411	.479
		センター	26	4.04	1.08				
20	事業所職員には支援に関連する資格が求められる	事業所	387	4.24	0.86	0.02	3.58	26.7	.001
		センター	26	3.38	1.20				
21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だと思う	事業所	387	4.50	0.78	0.07	-1.26	411	.208
		センター	26	4.69	0.62				
22	就学に向けて不安や心配になることがある	事業所	387	4.58	0.70	0.08	-1.00	411	.319
		センター	26	4.73	0.53				
23	就学後も引き続き児童発達支援事業所の職員に相談できる場がほしい	事業所	387	4.74	0.58	0.87	-0.20	411	.838
		センター	26	4.77	0.86				
24	就学後は放課後等デイサービスを利用したいと考えている	事業所	387	4.03	1.17	0.66	-1.00	411	.319
		センター	26	4.27	1.19				
25	現在、複数の民間事業所を利用している	事業所	387	2.63	1.89	0.00	1.04	29.4	.306
		センター	26	2.27	1.69				
26	早期の療育支援がとても重要だと感じている	事業所	387	4.77	0.56	0.70	0.33	411	.744
		センター	26	4.73	0.53				
27	公的療育機関(発達支援センター等)は民間の児童発達支援事業所よりも、支援の質が高いと感じている	事業所	387	3.03	1.08	0.16	-5.34	411	.000
		センター	26	4.19	1.10				
28	療育機関に通うようになったのは、健診で必要性を指摘されたからである	事業所	387	2.98	1.63	0.64	-1.92	411	.056
		センター	26	3.82	1.70				
29	療育機関に通うようになったのは、育てにくさを感じたからである	事業所	387	3.70	1.46	0.53	1.57	411	.116
		センター	26	3.23	1.56				
30	たとえば実費負担であっても、療育機関に通うことは望ましいと思う	事業所	387	3.99	1.05	0.26	-2.59	411	.010
		センター	26	4.54	0.76				

表. 13 の結果について、いくつかの項目に着目し検討していくものとする。まず、No. 1 に関しては平均値が 2.50 程度とかなり低い結果となった。これは利用に至る第一歩の情報収集の際に、事業に関して十分に周知・広報がなされていないことが理解できる。自由記述においても多くの利用者が言及しており、国や自治体による早急な対策が望まれる。杉村ら (2016) による子育て中の母親を対象にした調査において、行政の情報を積極的に利用した人は紙媒体で全体の約半数、ウェブでは約 1/4 と、十分に行き届いていない現状が明らかとなっている。また、自分の子どもに対するイメージの悪い群では「育児雑誌・育児本」の利用が有意に少なかった。「育児雑誌・育児本」にはしつけや夜泣き、離乳食といった子育ての具体的な情報が掲載されており、こうした情報は子育て支援ガイドブックには収録が少ないこともすでに明らかになっている。そのため、行政から提供される情報の充実が求められるほか、多様な媒体を活用し情報を有効に活用していく力の育成が教育に求められる。No. 7 から No. 9. はおもに支援効果に関わる項目であるが、これらはすべてにおいてセンター利用者が平均値を上回った。数値では明記していないが、センター職員は事業所職員よりも勤続年数・経験年数が長い傾向があり、これが利用者の安心感や信頼感に繋がっている可能性はある。また、設備面でも療育器具や人員配置など、事業所と比較して充実していることも支援効果に影響しているものと思われる。

次に資格の必要性について問うた No. 20 では、事業所利用者の平均値が 1 ポイント程度高く、資格保持者による支援を求めていることが見受けられた。センターでは専門職（臨床心理士・作業療法士・言語聴覚士など）の配置が多いのに対して、事業所では資格保有者が少なくかつ実務経験年数の低さが回答に影響しているものと思われる。けれども、続く No. 21 においてはセンター・事業所でほぼ数値が同じになり、資格が必要と考えながらも職員の人間性をも重要視していることが示された。専門知識や資格は必要ではあるが、それに加えて子どもや保護者との良好な関係性の構築が、より支援の効果を高めるものとの認識のあらわれとも考えられる。No. 22, No. 23 では、それぞれの利用者の得点はともに高く、就学に向けて保護者の不安や心配が大きいという結果になった。就学によってセンター・事業所との関係が希薄になってしまうが、利用者は引き続き職員に相談できる場を求めており、利用者の不安等を軽減できるような何らかの仕組みを積極的に整備していく必要がある。No. 27 においては、センター利用者の方が 1.16 ポイント高く、療育の質の面で充実していると捉えている傾向がみられた。これは上記の支援効果の項目と関連しており、設備の充実や人員配置など環境や規模の面で事業所と大きく異なっているためであろう。さらに No. 30 においても、センター利用者の方が得点が高いという結果になった。センターは療育現場の第一段階として機能しているが、利用希望者が多く待機者も相当数存在するため、事業所とくらべて利用頻度が低い場合が多い。そのため利用者は少しでも多くの支援の場を求めて事業所や他機関を検討するが、そこでも同じく待機者がいるため、たとえ実費負担であっても早期療育に繋がりを、発達について相談できる場所を切実な思いで求めていると考えられる。

最後に、センターと事業所の職員間での違いを t 検定にて確認した (表. 14)。



表.14 (センター職員および事業所職員) 記述統計量・t検定

No	項目	勤務場所	n	平均値	標準偏差	p	t値	df	p																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1	児童発達支援事業について、国や自治体は十分に周知・広報できている	事業所	63	2.56	0.88	0.99	-1.31	110	.195																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	2.78	0.90					2	事業所の利用にいたるまで、自治体窓口の対応には満足している	事業所	63	2.78	0.99	0.08	-0.81	110.0	.418	センター	49	2.92	0.79	3	受給者証が発行されるまでに、1ヵ月以上かかることがある	事業所	63	3.19	1.22	0.08	1.76	110.0	.081	センター	49	2.82	0.97	4	受給者証の支給量は、お子さんにとって適切な支給がなされている	事業所	63	3.37	0.94	0.00	2.13	110	.036	センター	49	3.02	0.78	5	あなたの事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えている	事業所	63	4.11	0.57	0.07	-2.80	110.0	.006	センター	49	4.41	0.54	6	あなたの事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	63	4.21	0.45	0.00	-1.32	82.8	.189	センター	49	4.35	0.63	7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002	センター	49	4.39	0.61	8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52
2	事業所の利用にいたるまで、自治体窓口の対応には満足している	事業所	63	2.78	0.99	0.08	-0.81	110.0	.418																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	2.92	0.79					3	受給者証が発行されるまでに、1ヵ月以上かかることがある	事業所	63	3.19	1.22	0.08	1.76	110.0	.081	センター	49	2.82	0.97	4	受給者証の支給量は、お子さんにとって適切な支給がなされている	事業所	63	3.37	0.94	0.00	2.13	110	.036	センター	49	3.02	0.78	5	あなたの事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えている	事業所	63	4.11	0.57	0.07	-2.80	110.0	.006	センター	49	4.41	0.54	6	あなたの事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	63	4.21	0.45	0.00	-1.32	82.8	.189	センター	49	4.35	0.63	7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002	センター	49	4.39	0.61	8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88								
3	受給者証が発行されるまでに、1ヵ月以上かかることがある	事業所	63	3.19	1.22	0.08	1.76	110.0	.081																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	2.82	0.97					4	受給者証の支給量は、お子さんにとって適切な支給がなされている	事業所	63	3.37	0.94	0.00	2.13	110	.036	センター	49	3.02	0.78	5	あなたの事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えている	事業所	63	4.11	0.57	0.07	-2.80	110.0	.006	センター	49	4.41	0.54	6	あなたの事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	63	4.21	0.45	0.00	-1.32	82.8	.189	センター	49	4.35	0.63	7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002	センター	49	4.39	0.61	8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																						
4	受給者証の支給量は、お子さんにとって適切な支給がなされている	事業所	63	3.37	0.94	0.00	2.13	110	.036																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.02	0.78					5	あなたの事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えている	事業所	63	4.11	0.57	0.07	-2.80	110.0	.006	センター	49	4.41	0.54	6	あなたの事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	63	4.21	0.45	0.00	-1.32	82.8	.189	センター	49	4.35	0.63	7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002	センター	49	4.39	0.61	8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																				
5	あなたの事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えている	事業所	63	4.11	0.57	0.07	-2.80	110.0	.006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.41	0.54					6	あなたの事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	63	4.21	0.45	0.00	-1.32	82.8	.189	センター	49	4.35	0.63	7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002	センター	49	4.39	0.61	8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																		
6	あなたの事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっている	事業所	63	4.21	0.45	0.00	-1.32	82.8	.189																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.35	0.63					7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002	センター	49	4.39	0.61	8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																
7	あなたの事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っている	事業所	63	3.98	0.73	0.53	-3.12	110	.002																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.39	0.61					8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015	センター	49	4.29	0.58	9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																														
8	あなたの事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身につけてきた	事業所	63	3.98	0.68	0.49	-2.48	110.0	.015																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.29	0.58					9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663	センター	49	4.22	0.55	10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																												
9	お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、保護者と情報共有できている	事業所	63	4.17	0.64	0.70	-0.44	110	.663																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.22	0.55					10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037	センター	49	4.08	0.64	11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																										
10	お子さん及びご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思う	事業所	63	3.83	0.64	0.45	-2.11	110.0	.037																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.08	0.64					11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506	センター	49	3.86	0.87	12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																								
11	あなたの事業所の活動スペースは清潔で整理された空間になっている	事業所	63	3.75	0.88	0.61	-0.67	110	.506																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.86	0.87					12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775	センター	49	4.02	0.69	13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																						
12	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	事業所	63	4.06	0.86	0.58	0.29	110	.775																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.02	0.69					13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000	センター	49	4.43	0.58	14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																				
13	お子さんがケガをしたり、体調が悪くなったとき、適切な対応が出来る	事業所	63	3.87	0.91	0.09	-3.74	110.0	.000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.43	0.58					14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020	センター	49	4.20	0.61	15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																		
14	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合、適切な対応が出来る	事業所	63	3.86	0.88	0.09	-2.36	110.0	.020																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.20	0.61					15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664	センター	49	4.35	0.63	16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																
15	周囲の職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応していると思う	事業所	63	4.29	0.81	0.35	-0.44	110.0	.664																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.35	0.63					16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064	センター	49	4.45	0.58	17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																														
16	お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を守っている	事業所	63	4.19	0.82	0.18	-1.87	110.0	.064																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.45	0.58					17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142	センター	49	4.16	0.69	18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																												
17	お子さんの支援に関する計画やサービス内容など、事業所での生活についての説明をわかりやすく実施している	事業所	63	3.95	0.79	0.98	-1.48	110	.142																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.16	0.69					18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196	センター	49	3.73	1.09	19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																										
18	あなたの事業所では、支援方針が明確である	事業所	63	3.49	0.88	0.63	-1.30	110	.196																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.73	1.09					19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742	センター	49	3.33	0.97	20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																								
19	関係機関(役所・他の児童発達支援事業所・医療など)との連携は十分に図れている	事業所	63	3.27	0.85	0.19	-0.33	110.0	.742																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.33	0.97					20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019	センター	49	4.02	0.95	21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																						
20	事業所職員には、支援に関連する資格が求められる	事業所	63	3.54	1.15	0.10	-2.37	110.0	.019																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.02	0.95					21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920	センター	49	4.29	0.71	22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																				
21	事業所職員の資格保持に関わらず、職員の人間性が大切だとおもう	事業所	63	4.30	0.96	0.01	0.10	109.7	.920																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.29	0.71					22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629	センター	49	3.76	1.07	23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																		
22	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、管理者や上司はきちんと対応してくれる	事業所	63	3.86	1.13	0.88	0.48	110	.629																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.76	1.07					23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830	センター	49	3.12	0.93	24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																
23	事務作業が多く、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.08	1.14	0.16	-0.21	110.0	.830																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.12	0.93					24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058	センター	49	3.43	1.19	25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
24	職員の数が不足していて、お子さんの支援に支障がある	事業所	63	3.02	1.08	0.08	-1.91	110.0	.058																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.43	1.19					25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136	センター	49	3.14	0.98	26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
25	支援技術向上のため、事業所内での研修機会は十分確保されている	事業所	63	2.84	1.11	0.45	-1.50	110.0	.136																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.14	0.98					26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551	センター	49	2.73	1.13	27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
26	支援技術向上のため、外部研修に定期的に参加できている	事業所	63	2.87	1.28	0.18	0.60	110.0	.551																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	2.73	1.13					27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035	センター	49	3.51	1.32	28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
27	外部研修にかかる費用は、事業所が負担してくれている	事業所	63	2.94	1.47	0.52	-2.14	110	.035																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.51	1.32					28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065	センター	49	3.27	1.06	29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
28	自治体を交えた関係機関による、連携会議(情報交換)は定期的に行なわれている	事業所	63	2.86	1.22	0.38	-1.86	110	.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	3.27	1.06					29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000	センター	49	4.10	0.82	30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
29	避難訓練や防災対策は適切に行なわれている	事業所	63	2.87	1.49	0.00	-5.56	100.4	.000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.10	0.82					30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605	センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
30	今後も児童発達支援に携わっていきたい	事業所	63	4.27	0.87	0.69	0.52	110	.605																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		センター	49	4.18	0.88																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

表. 14 について、No. 1 に関しては、利用者と同様に職員間でも十分に周知されていないとの結果がみられた。そのため事業について広く周知することは、喫緊の課題であると考えられる。No. 5 から No. 8 の支援効果の項目に関しては、すべてにおいてセンター職員の方が効果を実感していた。この結果は利用者と事業所職員のどこに意識、考えの違いがあるかをクロス集計・ $\chi^2$  検定で分析した際と同様に、事業所職員の自己評価の低さが示されている。利用者が支援効果を肯定的に評価しているにもかかわらず、事業所職員はどこか自身や事業所自体の取り組みに対して自信のなさが見てとれる結果となっている。これに関しては、ほかの項目と照らし合わせながら詳細を検討したい。

たとえば No. 25 から No. 27 の支援技術向上のための研修に関わる項目のなかで、No. 25 の勤務先内での研修機会の確保に関しては、事業所職員がやや低い数値となった。事業所内における人材育成や研修システムが、事業所によっては十分に整備されているとはいえ、療育の質の向上が求められるなかで自助努力の面が強い。No. 26 の外部研修への定期的な参加に関しては、事業所職員がやや高い数値で、より専門性を高めるための研修への参加意欲が示されている。しかし No. 27 において、事業所職員は研修費用を自己負担している割合が高くなっている。行政及び自治体・事業所は、どの程度の支援技術を保持し提供していくのかを、利用者ニーズを的確に把握しながら、より効果的な水準を明確にしていくことが求められる。さらに、事業所職員が一定水準の知識や技能を得られるような研修システムを構築し、事業所間での支援レベルの格差を解消していく取り組みが急務である。

## <第2研究>

調査票にて、「児童発達支援事業に対して日ごろお感じになっているご意見・ご要望など、ご自由にお書きください」と記載し回答をもとめた。記述内容を示すカードを作成し、KJ 法を用いて整理した。なお、一連の作業は筆者と研究協力者である大学教員 2 名の計 3 名で行い、分類や整理の際に意見が一致しなかった際には、その都度ディスカッションを行いながら作業を進めた。

### \*事業所利用者

自由記述回答者は 161 名（回答率 41.6%）。方法で示した手順を経て、自由記述で記載された内容を KJ 法にて分類した。なお複数の項目にまたがる内容を記載している対象者が多かったために、回答数と度数は一致しない。内容項目については表. 15、項目それぞれの関連については図. 1 を参照願いたい。

表. 15 事業所利用者（保護者）が児童発達支援事業について感じていること

	項目	記載例	度数
改善点	早期療育の大切さ	早期療育の重要性を実感しています。順番待ちで待機する時間が長く、そのあいたの時間がもったいなく、じれったく感じました。	38
	発達支援事業の広報不足	民間の発達支援があることを教えてくれなかった。教えてくれればもっと早く何とかしてあげられたのに。	17
	行政(自治体)への不満	行政がもう少し力を入れて欲しい。区の対応の遅さを感じます。	26
	支援の質への要望	事業所間で職員のスキルに差があり、事業所の認定が甘すぎると思うことがあるが、絶対数が足りてないので致し方ないと思うことがある。	13
	保護者を支える支援の少なさ	療育内容には満足しているが、親への支援・家庭との連携した療育への取り組みが不十分に感じる。	21
	事業所数・支援回数不足	事業所の数をもっと増やしていただきたい。通所が困難で車で通っているが、車を使用できない場合休むこともある。	47
	休日対応について	センターや事業所は日曜日や祝日が休みになっているけれど、幼稚園のある平日休みにして日曜祝日に通えるようにしてもらえると助かります。	14
評価点	発達支援の効果	本当にいろいろなことが出来るようになり、成長したと実感しています。	38
	安心する居場所	涙を流すことも多く、どうしたら良いか心が不安定で壊れそうな自分がいた。短期では成果は望めないのかもしれないが、気づけば大きな大きな成長をさせていただき感謝している。	41

表. 15 に提示したように、9 項目が抽出された。それぞれ内容についてみていくこととする。

#### 《早期療育の大切さ》

「早期療育の重要性を実感しています。2 歳前後から療育を始めることが理想だと思いますが、順番待ちで待機する時間が長く、その間の時間がもったいなく、じれったく感じました」。

幼児期の自閉症に対する早期療育の取り組み、親子通園における療育方法と実際例を検討した結果、松山（2010）は早期療育に関して以下の考察をこころみている。

①対象児の状態に応じた療育方法を組み合わせ、限られた時間で発達を促進し、障害の軽減を図る必要がある。②療育者には効果的な療育を行うために療育方法に精通し、その有効性を検証することも求められる。③療育プログラムが日常生活で般化するよう、対象児の発達段階や興味・関心を考慮すべきである。④療育プログラムは行動の統制を少なくし、日常的な場面を想定しながら勘案することが求められる。⑤有効と考えられる療育方法を組み合わせることが望ましい。⑥親に対する相談援助では、自閉症独特の対人・行動に関する障害特性を踏まえておく必要がある。

上記を踏まえたうえで、より対象の特性に合わせた最適な支援を、保護者との合意に基づいた上で行なっていくことが求められる。特に支援の有効性の検証に関してはまだまだ知見の蓄積が十分とは言えず、さらなる改善が急務であるといえる。

#### 《発達支援事業の広報不足》

「不安に思っている親へのアプローチや情報公開が少なすぎる」「全体的に見て利用希望者から働きかけないと得られないことが多い」など、情報が不足しているために、センターや事業所の利用に至るまでに、時間的・物理的な負担が大きいとの回答が得られた。一瀬（2016）によれば、41%の親が事業

所へ親同士の口コミやインターネットの情報で訪れたとの報告もある。「一般的な認知がまだ低いように感じ、支援が必要な子どもがいても親が知らないせいで支援を受けられていない子どもが多くいるのではないかと感じる」とあり、受身の姿勢では情報収集が非常に困難との意見が多く、本事業の重要な課題の1つと言える。

### 《行政（自治体）への不満》

「もっと積極的に役所などから案内して欲しい。自分から調べて探し出さないと、このような事業があることも知らなかった」「自治体を含め、不安に思っている親へのアプローチや情報公開が少なすぎる」といった意見が見られ、療育に繋がるまでのハードルの高さに加え、行政の周知姿勢への不満が多く見られた。豊島（2008）は、社会福祉の市場化・営利化・契約化が、福祉行政に5つの点で変化を及ぼしたと指摘している。そのなかでも、①提供されるサービス内容と利用者の権利性との、直ちに責任を負うことがなくなった。②サービス決定の契約化に伴う行政のニーズ把握やニーズ対応への判断責務からの撤退、の2点は上記の利用者の意見に関連していると考えられる。つまり、行政（自治体）は事業所に関する情報を積極的に提供する義務はないということであり、それに加えて行政が各事業所の運営内容や支援の質まで、詳細を把握しきれていないことも影響していると思われる。

### 《支援の質への要望》

「発達支援事業に関し、子どもの発達上、関わる人の対応が全体的なレベル上げが必要と感じます」「人間性も大事ですが、療育という意味でこれからもっと事業所の質の向上を行政が管理していくべきだと思います」とあり、療育の効果を感じている利用者がある一方で、事業所によってサービス内容・質に大きな差があったり、知識や技術が不足している事業所・職員がいるという意見もみられた。

当然のことながら、療育施設の専門家といえども、子どもにとっては“他人”であり、24時間の生活をともにする親とは異なる存在である。このような特性をもつ専門家は、親を子どもの療育へ協力させるための「指導者」となるのではなく、「親が専門家を利用し、子どもへの支援を期待すること」として親と専門家の「コラボレーション」が重要であるとする指摘もある（ポーター&マッケンジー、2000）。そこではもはや、専門家と親は「最高のパートナーであり、等しい立場」ではない。専門家が子どもの発達の成果を“予測”し、その実現に向けたプランを“計画”し、責任を持って“実行”していくという療育の専門家像は否定されてしまう。少なくとも現に行われている介入においては、専門家は子どもの発達をアセスメントし、そこから発達の成果にむけた支援計画を策定し、それを実行する責任を負うことが一般的である。そのような中で、親は日常の養育活動も含めた諸々の理解と協力を専門家から求められ選択を迫られる（ブリストル& ショプラー、1993）。子どもに自発的なコミュニケーション行動を生じさせ得る「親」と高度な知識と技術を持った「専門家」とが、どのような関係性において自閉症児の子育てをすればよいのか、子どもの発達の変化との最良の結びつきとは如何なるものであるのかは、今後の検討が待たれるところである。

### 《保護者を支える支援の少なさ》

「保護者にとっては唯一の頼みの綱であり、家族以外で一番の理解者でもあるので」という回答がみられた。北原（1995）や美城ら（2008）によると、発達障害は外見からわかりにくいこともあり、親の葛藤は特に大きいとも考えられる。また、発達障害がある子どもの家族は、障害のない子どもの家族に比べて、様々な心理的な負担や困難を抱えていることが指摘されている。田上・安部（2013）によると、障害児通園施設に通う多くの母親は、同じく障害のある子どもをもつ親同士頻繁に会い、情報の交換や愚痴の言い合いをすることでポジティブな感情をもつ、あるいは、ストレス発散となっていたことを報告している。

様々な回答を概観すると、事業所という場が同じ悩みを持つ保護者の自然発生的な自助グループのような存在となり得ており、これには大きな意義があると思われ、今後のさらなる検証が望まれる。

### 《事業所数・支援回数不足》

「場所によってはまだまだ事業所が足りないと思うので、十分に事業所が増えることが望ましいと思います」「週に1回で約1時間というのは少ないと感じます」など、やっとの思いで支援に繋がったものの、求める利用回数と現実とは乖離しており、保護者にとっての要求水準を満たしきれていない現状がある。

ここ数年で事業者数は大きく増えてはいるものの、その実態をみてみると放課後等デイサービスが大半であり、療育を主たる目的とした児童発達支援事業所はまだ不足しているのが現状である。筆者が複数の自治体担当者（障害福祉課）と面談し、児童発達支援事業の現状を伺ったところ、事業所の増加にともなって、障害福祉分野における自治体の財政負担は年々大きくなっており、自治体としては事業所を増やしたいが負担も増えるというジレンマ、併せて質を担保していかなければならないという課題も抱えており、事業所設置には慎重な姿勢をとらざるを得ないケースも見受けられる。

### 《休日対応について》

「働いているので、日曜も開設してくれると大変ありがたいです」など、休日対応を求める意見もいくつか見られた。親世代の労働状況などにより、平日の通所が難しいケースが多く見受けられ、実際に土曜日から予約が埋まっていくという現状が散見されている。事業所としても保護者のニーズに対応したいとの考えはあると思われるが、支援の質を担保するためには休日を研修日としていたり、併せて職員の精神衛生上も十分な休息を推奨することも求められるため、現実的には早急な対応は難しいと言わざるを得ないだろう。

### 《発達支援の効果》

多くの利用者が、発達支援による効果に肯定的な回答をしていた。「子どもが通うようになって、本

当にいろいろなことが出来るようになり、成長したと実感しています」のように、子どもの成長を実感し、支援が効果のあるものと捉えられている。また、子どもだけではなく保護者自身も成長できたという回答もいくつか見られた。その一方で、「子ども自身の成長が、療育の成果か、現状では評価が難しいと思います」という意見もあり、支援の効果測定やエビデンスの蓄積を求める意見も見られた。療育の効果やエビデンスの蓄積に関しては、センター・事業所の責務として最優先に取り組んでいくべき重要課題であり、今回の貴重な意見を真摯に受けとめそれぞれの事業計画に記載し、組織内外からチェックしていける体制づくりが求められる。

発達障害を有する幼児への発達支援とは、短期間で成果、結果等を成しえるものではなく、より継続性があり生涯を踏まえた支援をしていく必要があると考える。乳幼児期では継続性がある中で、第一に母親（養育者）との愛着関係、信頼関係、さらには依存関係を築くこと、第二に母親を含めた周囲の人々に本児の理解を図ること、第三に他児との‘共生社会’をどのように築き上げていくのか、という三つの視点を踏まえた上で支援をしていく重要性に言及されており（北野，2010），さらには近年、親支援の重要性がこれまで以上に着目されていることから、多角的な視点から子・親それぞれへの支援の充実が求められているといえる。

### 《安心する居場所》

「子どもの成長と一緒にみていただけることで、親としてはとても安心でき、精神的にも支えてくださっています」とあり、このように親の気持ちを安定させ、立ち直りをサポートしていくためには、療育機関で助言や指導を受けること、障害児の母親同士の交流があることなどが、重要であるとされている（月本・足立ら，1998）。おおきく子育て支援に目を向けてみても、地域子育て支援センターなどが、地域のさまざまな年代が集まる貴重な場所となっており、子育てに関する悩みを相談・共有しながら、育児の孤立化を防ぐ機能を有しているという事例もある（笹嶋，2014）。

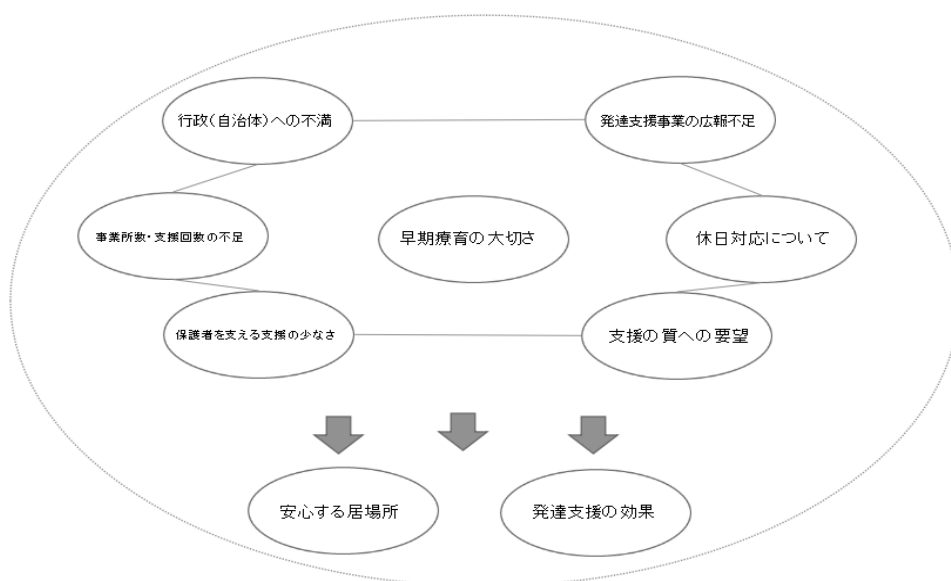


図.1 項目関連図

## 4. 考察

質問紙調査において事業の現状を把握するとともに、さまざまな課題が明らかとなった。児童発達支援事業の現状と課題に関して、＜3. 結果＞において言及したことと併せて、「自治体・事業所の児童発達支援事業に関する相互連携と周知の必要性」と、「職員の支援技術向上のための研修の充実化」という観点から考察をする。

### 4-1 自治体・事業所の児童発達支援事業に関する相互連携と周知の必要性

まず自治体の課題としては、地域において広く児童発達支援事業について周知し、すぐにでも繋がりたい・利用したいとねがう希望者が、スムーズに手続きを行なえるように体制を整備する必要がある。例えば地域内にある事業所一覧を作成するなどし、希望者が自ら選択する機会を提供して、事業所の特色や支援内容などを説明できるよう、日ごろから事業所との情報共有を密にして連携を図っていくことが求められる。事業所としても、運営方針や支援内容あるいは活動状況について簡潔にまとめたものを、機関紙として定期的に地域住民に配布周知していく取り組みが有効であると思われる。これは地域支援の第一歩であり、事業について知ってもらっただけではなく、子育てに不安を抱いている地域の保護者にとって、情報を得る良い機会となるだろう。

自治体によっては、自治体主導で事業所との連絡会を定期的実施しており、そこで事業所の特色を共有したり、それぞれの受け入れ状況・職員構成等を詳細に把握しているところもある。行政と事業所との連携のみならず、事業所間の横の繋がりという面でも、このような連絡会は最低でも四半期に1回は開催することが望ましいと考える。また、自治体間での連絡会を開催することで、各自治体の取り組みや課題を整理共有し、事業のさらなる推進と改善にいかしていくことも大切であろう。つまり、自治体間・事業所間・自治体－事業所間での情報共有と連携が、結果的には利用者の利益向上に繋がるという意識をもって活動していくことが必要である。さらに、事業所の支援の質の保証に関しても、事業所任せにするのではなく、自治体が中心となって研修を開催するなど、事業所のコンプライアンス徹底やスキルアップに積極的に関与していくことも求められる。

### 4-2 職員の支援技術向上のための研修の充実化

センター・事業所は保護者のニーズを的確に捉え、利用児の特性を十分理解した上で、適切な支援を行なえるよう努めているのがほとんどである。しかし、職員自身の自己肯定感が低下しがちであり、どこか自身たちの支援技術に自信を持ってないという現状がある。研修機会の確保の困難さや、そもそも発達支援というものの難しさも影響しているのだろう。事業所によっては法定人員ぎりぎりまで運営をしていたり、発達支援の経験の浅い職員で構成されているなどの現状もあるため、肉体的精神的な負担が大きく、専門性の向上に向けた時間の確保が難しくなっている。事業所の運営を継続していくにあたって収益の確保は当然のことではあるものの、そこに着目するあまり、支援の質の低下が懸念されているの

は言うまでもない。しかし、専門性の高い職員を確保しようとするとう当然人件費はかさむし、逆に経験の浅い無資格の職員での支援となると、質の低下はまぬがれないという状況となっている。国・自治体での研修は年間で数回あるものの、現場職員のニーズに合致した内容の研修ははたしてどの程度あるのだろうか。さらに研修内容が、そもそも直接支援の技術向上に役立つものとなっているのかも疑問がのこる。事業としては、各事業所単位での定期的な研修実施を求めているものの、その実情は管理把握できてはいないと思われる。国や自治体が、どのようなレベルのどのような人材・事業所を求めているのかを明確にし、それに沿った育成システムを構築し提供していくことが必要であり、それが結果的に事業所の健全な運営については利用者の利益につながるものと考ええる。センター・事業所は利用者やその家族にとっての貴重な相談機関であり、不安を低減させてくれる心の拠り所として機能していることに再度言及しておきたい。

## 5. おわりに

発達障害児・者の存在やその特性が、メディアを通してひろく国民の知られるところとなった今日において、その支援方法や支援団体についても少なからず周知されてきてはいるものの、未就学児の早期療育を目的とした児童発達支援事業に関してはまだまだ十分とは言えないのが現状である。発達障害のみならず、障害児・者全体の地域社会への包容・参加（インクルージョン）をいかに進めるかということ、今後さらに大きな社会課題として、国民ひとりひとりが身近に捉えていく必要があるだろう。そのような観点から、静岡市は先進的な取り組みを行っており、ライフステージごとの理念において乳幼児期では、「早期の気づき・理解・支援のために」を掲げて①気になる子への気づきと理解と支援②気軽に相談できる場所作り③幼児期の教育・保育（こども園・幼稚園・保育園）における支援の3点を支援の方向と位置づけ、本人と家族それぞれに切れ目のない支援を推進している（静岡市、2017）。わが国でも近年確実に「インクルーシブ」な保育・教育施策が進展してきたかのように思われる。しかし、残念ながらここ数年の動向をみると必ずしもそうとは言えない状況も生まれている。一例をあげるならば、本来はそうした「インクルージョン」の流れを制度的に後押しするはずであった2012年の児童福祉法の改正による児童福祉施設の再編成（＝児童発達支援センターの設置による小規模な各種通所系施設の一元化、放課後等デイサービスや保育所等訪問支援制度の開始など）後の展開は、結果的にはむしろその流れに逆行し、「分離」を強化するかのような動きが見え隠れする。また、一瀬(2016)も指摘しているように、相談支援が適切になされないままに制度利用の事務的な手続きに終始し、親の焦りや戸惑いと向き合わないまま療育サービスだけが先行していくことになってしまっている現状では、子どもに過度な負担が生じる可能性が危惧される。他方で先進的な取り組みをしている自治体もあり、国主導の制度をそのまま運用するのではなく、それぞれの自治体や機関がこれまでの実践のなかで培ってきた知見を集約し、より利用者のニーズに合致した支援システムを構築していくことが重要である。



## 謝辞

調査に際し、ご協力いただきました児童発達支援センター・児童発達支援事業所職員の皆様と、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

## 文献

- ブリストル, M. & ショプラー, E. (1993). 「自閉症幼児の諸問題」. Schopler, E. et al. (Eds.) *Preschool issues in autism*. Plenum Press: New York. 伊藤英夫監訳 (1996) 幼児期の自閉症—発達と診断および指導法. 学苑社, 1-14.
- 藤田久美・岡村隆弘・吉富徹 (2016). 「発達障害早期支援システムにおける家族支援プログラムの検討～児童発達支援センターへのペアレント・メンター導入の試み～」 山口県立大学学術情報 第9号 (社会福祉学部紀要 通巻第22号) 2016年3月
- 一般社団法人全国児童発達支援協議会 (2014). 障害者総合福祉推進事業「障害児通所支援の今後の在り方に関する調査研究」
- 一瀬小百合 (2016). 「障害のある子どもと保護者を支える早期療育: 障害者通所受給者証に対する反応への認識に着目して」 田園調布学園大学紀要 (11) . 133-149. 2016
- 井上和博・柳田信彦・窪田正広・深野佳和・赤崎安昭 (2016). 「発達障害児を持つ母親の育児ストレス: 児童発達支援事業所における調査の分析」 鹿児島大学医学部保健学科紀要 = *Bulletin of the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University*, 26(1):13-20
- 北原佑 (1995). 「発達障害児家族の障害受容」 *総合リハビリテーション* 1995, 23, (8)657-663
- 北野絵美 (2010). 「広汎性発達障害を早期に疑われる幼児への発達支援に関する一考察 (第2報) —療育機関等から保育園・幼稚園等への移行を通して見えてくる「意義」と「課題」について—」 *治療教育学研究*. 30, p. 29-39.
- 厚生労働省 (2017) 「第3回児童発達支援に関するガイドライン策定検討会」
- 鯨岡 峻・鯨岡和子 (2001). 「保育を支える発達心理学」 ミネルヴァ書房, 196-205
- 松山郁夫 (2010). 「幼児期の自閉症に対する早期療育の取り組み」 佐賀大学文化教育学部研究論文集 Vol.14 no.2 p.311-319
- 美城圭美・藤原直子・日上耕司・大野裕史・佐田久真貴・松永美希・渡辺由巳・久保義郎園田順一 (2008). 「発達障害のある子どもの保護者のための親訓練プログラムの効果—親の障害受容に着目して—」 *吉備国際大学 臨床心理相談研究所紀要* 2008, 5, 47-65
- 森本誠司 (2016). 「児童発達支援事業での子育て支援のあり方と作業療法士の役割～自閉症スペクトラム男児を持つ母親1名の語りの分析から～」 *保健科学研究誌 Journal of Health Sciences* 2016, No.13:107-115
- 仲森みどり・大谷正人 (2016). 「発達障害児の保護者への理解と支援: A市療育施設の保護者を対象としたアンケート調査より」 *三重大学教育学部研究紀要. 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学・教育実践*. 2016, 67, p. 87-98
- 西田充潔 (2011). 「自閉症児に対する早期介入・早期療育の有効性について: 幼児期からの親による介入の効果とその課題」 *北星学園大学社会福祉学部北星論集* 48号, p. 119 - 127
- 小澤温 (研究代表者) (2015). 「障害児支援の現状分析と質の向上に関する研究」 H27-身体-知的-一般-011 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 障害者政策総合研究事業 (身体・知的等障害分野) 平成27年度 総括研究報告書
- Porter, L. & McKenzie, S. (2000). *Professional collaboration with parents of children with disabilities*. Whurr Publishers, London. 堅田明義監訳・林恵津子訳 (2005) ; 教師と親のコラボレーション. 田研出版, 2005
- 櫻井慶一 (2015). 保育所での「気になる子」の現状と「子ども・子育て支援新制度」の課題: 近年における障害児政策の動向と関連して *生活科学研究 (Bulletin of Living Science)*. Vol.37 ,p.53-65
- 佐藤麗奈・菅野敦 (2017) 施設一元化における障害児支援の現状と課題: 児童発達支援を行う施設の調査を通して *東京学芸大学紀要 総合教育科学系* 68 (2) , 453-468
- 笹嶋志帆 (2014). 子育て支援センターと保護者: 子育て支援の中で保護者と向き合うには *保育所保育実践研究・報告集* 8, 43-50 日本保育協会保育科学研究所
- 静岡市 (2017). 「静岡市発達支援のための基本指針」 静岡市健康福祉長寿局 健康福祉部 障害者福祉課 地域生活支援係
- 杉村千聖・鈴木真由子 (2016). 「子育て中の母親の情報利用実態および子どもイメージ」 *大阪教育大学紀要 第II部門 社会科学・生活科学*, 65(1), 1-9.
- 田上裕子・安部順子 (2013). 「幼児期の障害のある子どもを持つ母親のメンタルヘルスに関する研究」 *福岡教育大学紀要*, 2013. 62. 第4分冊, 21-31
- 豊島明子 (2008). 「福祉の契約化と福祉行政の役割—高齢者福祉と障害者福祉に着目して—」 『名古屋大学法制論集 Vol.1. 225』 名古屋大学大学院法学研究科, 185-212 ページ。
- 月本由紀子・足立自朗 (1998). 「障害児をもつ母親の需要と立ち直りに関する研究」 *埼玉大学紀要教育学部 (教育科学)* 1998, 47, (1)51-67
- 山口勝也 (2005). 「統合保育の場の障害を持つ子どもの育ちについて—発達の理想型と価値の視点から—」 *幼年児童教育研究*, 第17号, 103-114